

# ヤナギタンポポ

*Hieracium umbellatum*

キク科

## 名前の由来

葉の形がヤナギに似て、花の形はタンポポに似ていることから名付けられた。漢字名：柳蒲公英



ヤナギタンポポ

## 形態的特徴

高さ50~100cmほどで、茎は直立する。葉（茎葉）は細長く（線状披針形）、縁に少数の歯歯があり、茎上に互い違いに（互生して）多数つく。葉の両面に粗毛が散生し、特に裏面に多い。花は黄色で径3cm内外、タンポポのように舌状花とよばれる小さな花が多数集まって頭花を形成し、茎上部に数個がややばらけて（散形に）つく。

類似種と見分け方：茎が立ち上がり、タンポポ状の黄色い花をつけるキク科の植物。

ヤナギタンポポの、ヤナギのように細長い葉と、滑らかで丸く直立した茎を持つことなどで見分ける。

## 生育環境・分布

低地～山地や海岸の草原に生育する。

分布：国外分布は、北半球。

国内分布は、北海道から九州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、低地～山地や海岸の草原で見られる。



ヤナギタンポポ

## 生活史

開花時期：8～9月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■ヤナギタンポポの種はタンポポの様に綿毛を持ち、茎上方に球形の白い穂がたくさんつく。綿毛を持った種子は、風に飛ばされて分散する。



ヤナギタンポポ  
〈左〉若い株の葉。〈右〉花

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期					■							
結実期					■							

## 参考文献

「改訂版 牧野新日本植物図鑑」 牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅲ」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1981

「図説 花と樹の大事典」 木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗 柏書房 1996

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）  
草花

（外来種）  
草花

哺乳類

（水辺）  
鳥類

（草原・樹林）  
ワシタカ  
鳥類